

「Happy Life project」とは...
新日本製薬の協力の下、山本華世が先頭に立ち、女性の美しさや人生観、アンチエイジング対策などを推進していくプロジェクト。

今回のゲスト NPO法人 ウィッグリング・ジャパン代表理事
P&Cプランニング株式会社代表
上田 あい子さん

のはカツラなんですけど、 なんです



抗がん剤の副作用に悩む女性に勇気を。

(山本華世...以下、華世)が患者の方々にウィッグを貸し出そうと思われたキッカケは何だったんですか?
(上田あい子...以下、上田)キッカケは幼なじみの乳がんの発症だったんです。お洒落で社交的だったのに髪が抜けることに落ち込んでいて...何かできないかと、がんを克服した知人に相談したんです。そして知人のダンスに眠っていたカツラを借り届けました。最初は「カツラのお下がりで...」と

嫌がられるかと不安だったのですが、がんと闘った人の存在も感じてくれたみたいで前向きになってくれたことを聞いて嬉しくて。カツラってすごく値段が高くて、だいたい10〜30万円、医療用となるとさらに高くなるんです。抗がん剤治療がだいたい一回4〜5万円するのを4〜5回したらあと20万円、カツラも20万円、そうなると同じ20万円でも皆さんは当然ながら治療の方を選ばれるんです。今は特に生活を切り詰めている方が多いので、髪の毛のことを気にしない人が増えている現状があるんです。

山本華世 (やまもと かよ)

福岡県出身。言わずと知れた九州を代表するタレント。テレビ司会者、コメンテーター。華世姐(かよねえ)という愛称で老若男女から長年愛され続けている。

上田あい子 (うへだ あいこ)

1974年生まれ。地元福岡の放送局で11年間、テレビ番組制作に携わる。ワークライフバランスをとるために2008年に独立。多様な情報番組を制作した実績をもとに、現在は行政・医療機関・企業・個人のPRプランニングをプロデュース中。現在、中学生になる子を持つ。



が、やっぱり女性なので何とかしてあげたいと思って。
女性としての自信や喜びを取り戻してほしい

(華世)女性にとって髪は大切ですからね。(上田)そうですね。「髪は女の命」と言われますし。やっぱり抗がん剤治療は、副作用として脱毛する場合があります。事実、女性にとって髪を失うことで受ける精神的ダメージは計り知れないと思います。そういう意味でウィッグが心の支えになるのではと考えました。しかし、医療用カツラは高額のもので、治療を進めていく上ではかなりの経済的負担となってしまいます。そういった様々な負担を少しでも軽減しようという想いで活動を始めたんです。私たちの活動は、がん治療を終えた患者さんから、使用していたウィッグをご提供頂き、がんと闘う女性たちへと再提供するサイクルとなっています。がん治療を乗り越えた方々から、闘病する女性へ提供することと、がんと闘う勇気を繋ぎ、笑顔と希望を届け、そして女性としての自信や喜びを取り戻してほしいと思っています。

小さな場所で質問しやすい環境を提供したかった

(華世)貸し出し料ってどれくらいなんですか?(上田)元々は無料で貸し出していたのですが、無料だと貸した物が返って来なくなってしまうので、入会金を二千元にして、年会費を三千元に設定しました。一年間カツラを借りられて、一度髪型のチェンジが出来るという形でやっています。(華世)いつからこの活動をされているんですか?

(上田)二年前からです。当時はこの活動がこんなには広がるとは思っていなかったんですが、いろんなメディアで取り上げてもらったことでカツラが続々と集まってきたんです。そうやって少しずつ話題になって、去年の3月に福岡県から表彰をして頂いたことをきっかけにNPOにすることになったんです。



頑張る女性を応援!

Happy Life project

～ 山本華世の今この人に逢いたい Vol.14 ～

私たちの活動って、目に見えるも 渡しているものは希望や勇気

言わずと知れた九州を代表するタレント、

「山本華世」が聞き手となり、毎回様々な分野で活躍するゲストと対談。

今回は14回目。NPO法人 ウィッグリング・ジャパン代表理事、P&Cプランニング株式会社代表の上田あい子さんをお招きしました。

す。定期的に「カフェで学ぼう がんのこと」という催しをやっているのですが、若い人も来てほしいのと、小さな場所で質問しやすい環境を提供したかったという想いで、カフェでがんの話をする活動を始めたんです。**がんになったことと、それを乗り越えたことを前向きに捉えてほしい**

(華世) がんの患者さん限定の催しですか？
(上田) いいえ、もちろん半分程はがん患者さんやそのご家族ですけど、一般の方々も多いんです。今までの市民公開講座とかは90%ががん患者さんで平均年齢が65歳とか、そういう雰囲気だったんですが、がんは年々若年化している現状がありますので、ぜひ若い人に来てもらいたかったんです。今では参加者の平均年齢が40代、半分以上が一般の人になっています。やっぱりカフェにしたことや、フェイスブックなどで呼びかけたことで、一般の人にも参加して頂けるようになってきました。これをきっかけに若い人が検診や予防に興味を持っていただけるといいですね。

「必要だな」って思ったことを見過ごさず、常に取り組んでいきたい

(華世) 元々テレビの仕事をしていて、まさか今こうしてウィッグリング・ジャパンをや

っているとは自分でも想像してなかったでしょう。

(上田) 全然想像してなかったですね。

(華世) 髪もそうですが、女性って特にいろんなところで悩まないといけないですから、すごく大切な活動だと思います。

(上田) 本当に女性にはそういった悩むシーンが沢山ありますからね。だからやっぱりライフステージとかいうか、私は自分が生きてきた分しかわからないんですけど、今後年齢が増えれば増えるほど、病気や子育ての分野が広がって行ったり、介護とかもそうだし、やっぱりその時その時に自分が感じて「必要だな」って思ったことを見逃さず、常に取り組んでいきたいと思っていま

す。人と人を出会わせるとか、情報を出し合わせるとか、そうやって様々な方々のサポートが出来ればいいと思います。私たちの活動って、目に見えるものはカツラなんですけど、渡しているものは希望や勇気なんです。そういう目に見えないものが大きな活力となっていくと私は信じています。

「カフェで学ぼう がんのこと」セミナーご案内

6月21日(木) 15:30～17:00

西鉄グランドホテル1階 グランカフェ

テーマ：がんの食事療法

講師：伊東恭悟先生

(久留米大学医学部免疫・免疫治療学講座教授)

7月10日(火) 15:30～17:00

久留米ホテルエスプリ 多目的ホール

テーマ：乳がん

講師：唐 宇飛先生

(久留米大学医学部外科学講座講師)

お申し込み・お問い合わせは「ウィッグリング・ジャパン」へ



「華世さんと対談してほしい」「2ショットが見たい」というゲストをめざーじゅまでご応募ください。

NPO法人

ウィッグリング・ジャパン

福岡市中央区天神2-2-13 サンペアービル3F

☎092-725-6623

MAIL:japan@wig-ring.info

HP:http://www.wig-ring.info/